



学校・地域の和

広報連絡委員 須田 美和

令和5年は友小150周年記念の年となり、10月21日に友小コミュニティ大運動会が開催されました。4年ぶりに分館合同の運動会を開催するにあたり、学校と分館役員の皆様が何度も協議してその日を迎えられた事は、長年培われた地域の信頼関係の賜物だと思います。一度止まった事業を再開するにはエネルギーが必要です。分館種目を2種目に絞り、午前中で終わるという折衷案が実現しました。

秋晴れのもと、校庭には子ども達と分館7チームの選手団が並びました。我が子が在校生の頃は当たり前だったのに、今の子ども達には5、6年生しか知らない風景なんだと思うと、コロナ禍での変化の大きさを痛感しました。成長期の子ども達に、どれだけ影響があるのかわ

かりませんが、どうか我慢した分、一杯発揮できる場を増やして欲しいと願います。オンライン化などの交流は深まっていますが、リアルが一番楽しく、互いの大きな声援は元気をもらえます。

また体育館では150周年記念の地域の応援メッセージ、赤羽先生によるイラストで綴る友小の歴史も展示され、思い出話に花が咲きました。

校庭では、白熱した紅白リレー後、閉会式の僅差の結果に湧いた後にサプライズがありました。野木町消防団第一分団によるポンプ操法の披露でした。消防車とキビキビと動く団員にワクワクしながら、いざ放水。見事な2本のアーチが青空に映えました。地域を守るために普段から訓練しているからこそこの連携プレーには頭が下がります。子ども達の心にも響いたと思います。

コロナ明けの一年、皆、頑張りました。令和6年はさらに繋がりをあえる年となることを願います。

トピックス ～町の話～

小山地区医師会・小山薬剤師会と「災害時の医療救護活動に関する協定」を締結しました

11月7日(火)に、小山市、下野市、上三川町、野木町と一般社団法人小山地区医師会・一般社団法人小山薬剤師会と「災害時の医療救護活動に関する協定」を締結いたしました。

この協定により、町内において災害が発生した場合、小山地区医師会においては、医療救護班を派遣していただき、傷病者に対して応急処置及び医療等を行い、小山薬剤師会においては、薬剤師を派遣していただき、調剤及び服薬指導等を行っていただくことになりました。

いつ起きるか分からない災害に対して、町民の安全・安心のために趣旨をご理解いただき、大変ありがとうございました。



問総務課 ☎(57)4112

小山警察署・被害者支援センターとちぎと「犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定」を締結しました

11月27日(月)に、野木町と小山警察署・公益社団法人被害者支援センターとちぎと「犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定」を締結いたしました。

この協定は、「野木町犯罪被害者等支援条例」を効果的に機能させるため、三者が連携・協力しながら、被害の軽減と早期回復に向けた支援を行うことを目的としています。

町民の皆様が安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現に向け、体制の強化を図っていきます。



問総務課 ☎(57)4112

